

英語科学習指導案

大船渡市立第一中学校
3年4組男18名女14名 計32名
場所 3年4組教室
指導者 佐藤 学

1. 単元名 PROGRAM 8 A Work Experience Program (開隆堂 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3)

2. 単元について

(1) 生徒の実態

学級全体としては落ち着いた雰囲気であり、学習意欲・規律ともに概ね良い。しかし、話し合い活動や授業での発言は、圧倒的に男子が多く、女子はあまり積極的であるとは言えない。それ故、班活動においても、男子の意見が優先されることが多く、女子の意見が生かされることが少なかった。現在は、一人ひとりが少しでも意見を言いやすく、そしてそれを受け入れようとする雰囲気を高めるねらいで、男子班と女子班の編成にしている。英語の授業においても、その生活班を生かしている。1単位時間の授業においては、非常に反応がよく、充分理解しながら前向きに取り組んでいる。単元テストの結果からも7~8割程度の理解定着度が見られる。比較的短いスパンにおける学習内容には対応できていると考えられる。しかし、多くの生徒が英語に苦手意識を持っており、期末テストや実力テストのように、様々な内容が盛り込まれていると、困惑してしまう生徒がほとんどである。そこで、既習の表現や語句を日常の授業の中で繰り返し取り上げながら、スパイラルに学習を進めていく必要があると考えている。

(2) 教材観

PROGRAM 8は、職業体験学習についての報告である。由紀と武が、それぞれのグループを代表して、先週行われた職業体験学習についてクラスでスピーチをする。由紀は、植木の剪定の体験を、武は、旅館での接客についての体験を報告する。その後、キャノン先生が、高校時代にオーストラリアの病院で行った体験について話す。生徒達も、実際に3週間前に職業体験学習を経験しており、事後学習の中で前向きな感想が多くでており、興味・関心を持って取り組める内容であると考えられる。そこで、最終的な本課の目標として、自分の体験や将来の夢について、英語で説明できるようにするところまで進めたい。

言葉の働きについては、①情景を描写したり、説明する時の言い方、②質問をしたり、依頼や勧誘をする時の言い方、③ほめる時や励ます時、さらには謝る時の言い方について学習する。

言語材料については、現在分詞や過去分詞の形容詞的用法と、接触節について学習する。理解の段階にとどめず、表現できるようになるところまで扱うものである。

(3) 指導観

中学3年生の2学期半ばを過ぎ、いよいよ進路選択の時期を迎えている。自分の将来の生き方について考え、方向を見いだしていかななくてはならない。1学期に実施した進路適性検査や教育相談から、未だに自分の将来について漠然とした希望を抱いている生徒が多いのが実態であった。悩みの回答では、卒業後の進路が65%、勉強計画の立て方が48%、勉強への意欲低下が42%と多かった。また、仕事への意義として考えているのは、適性の活用が65%、経済性48%、やりがい48%と多かった。

しかし、本単元の題材にあるような職場体験学習を先月下旬に経験し、そこで接した様々な人の働く姿勢や生き様に触れたことによって、今までに比べ、自分のこれからの生き方について現実的に考えることができた生徒も多かったと思われる。このタイムリーな機会をとらえ、本時でも単なる読解の学習に終わらせずに、英語でスピーチ発表をすることで更に補充・深化・統合を目指した指導を構想したいと考える。

生徒の実態から、新出文型や語句を先に学習し、十分に知識・理解が高められた段階で、多読活動及びスピーチの表現活動に入っていきたいと考える。日本語とは逆の語順で名詞を修飾する表現を扱うので、多くの生徒にとっては理解に苦しむことが予想される。しかし、この表現の仕方をマスターすることによって、何かを説明できる幅が飛躍的に伸びるので、理解の段階にとどめず、身近な事について言ったり書いたりするレベルまで到達させたいところである。したがって、名詞の修飾構造の説明をしっかりとするとともに、絵や写真などを使って多くのものを口頭練習して十分に慣れさせ、まずは意味のまとまりをしっかりと捉えさせたいと考える。また、「どんな場面・状況で使われる表現なのか」、その学習価値を把握させたいと表現活動に取り組ませたい。

3. 単元の目標

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・対話文のロールプレイの活動に積極的に取り組もうとする。
- ・職場体験学習についてのスピーチを、創造性や自分の考え、オリジナルの表現を入れながら、書きまとめようとする。

【表現の能力】

- ・分詞や接触節による後置修飾を正しく用いて、身の回りの人や物について描写することができる。

- ・自分の職場体験学習や将来の夢について、自分の考えを3段落構成でまとめ発表することができる。

【理解の能力】

- ・分詞や接触節による後置修飾を含む名詞句や文を、聞いたり読んだりしてその内容を正しく理解することができる。
- ・職場体験学習についての教科書本文を読んで、要点を理解できる。

【言語や文化についての知識・理解】

- ・名詞を修飾する様々な表現について理解する。
(冠詞、代名詞、数詞、形容詞、前置詞句、不定詞句、分詞句)

4. 指導計画 (10時間)

時	学習活動	観点	判断基準		C 具体的な手だて	方法
			A	B		
1	事前学習 (名詞の修飾)					
1.5 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞の形容詞的用法を理解し、身近な人や物について表現する。 	理解	<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞による後置修飾を含む文を読んで、その意味を正しく書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞で修飾された名詞を聞いて、正しく絵を選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞の意味を確認させたうえで、現在分詞の形容詞的用法を説明し、名詞句の意味を確認させる。 	W S
		表現	<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞による後置修飾の表現も使って、身近な人や物について5文程度で紹介することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「～している人は○○です」という文を言うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を見ながら「～している**」という表現を正しい語順で言うことができる 	T
1.5	<ul style="list-style-type: none"> ・過去分詞の形容詞的用法について理解し、身近な人や物について表現する 	理解	<ul style="list-style-type: none"> ・過去分詞による後置修飾を含む文を読んで、その意味を正しく書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去分詞で修飾された名詞を聞いて、正しく写真を選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動詞の意味を確認させたうえで、過去分詞の形容詞的用法を説明し、名詞句の意味を確認させる。 	W S
		表現	<ul style="list-style-type: none"> ・過去分詞による後置修飾の表現も使って、身近な人や物について5文程度で紹介することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を見ながら、「これは、～によって一された○○です」という文を言うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を見ながら「～によって**された○○」という表現を正しい語順で言うことができる。 	T
1	<ul style="list-style-type: none"> ・接触節による後置修飾の表現を理解し、身近な人や物について表現する。 	理解	<ul style="list-style-type: none"> ・接触節による後置修飾を含む文を読んで、その意味を正しく書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・接触節で修飾された名詞を聞いて、正しく絵を選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・接触節による後置修飾を用いて表現された名詞句を読んで、説明している部分と、説明されている部分を区別できる。 	W S
		表現	<ul style="list-style-type: none"> ・接触節による後置修飾の表現を使って、身近な人や物について3文以上で紹介することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を見ながら、「これは～が昨日**した○○です」という文を言うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語と英語の語順の違いを確認させる。 ・名詞句を正しい語順に並び替えることができる。 	T
1	<ul style="list-style-type: none"> ・多読活動 (SECTION 1-3) 職業体験学習についての数種類の英文を読み、要点を捉える。 	理解	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の内容についての質問に、英語で答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーディング・ポイントを正確に捉え、英文の概略を日本語で説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新出単語・連語、慣用語表をしっかりと覚えさせる。 	W S
1	<ul style="list-style-type: none"> ・音読活動 内容が表現されるように音読練習し、ペアでロールプレイの発表をする。 	関心	<ul style="list-style-type: none"> ・暗記して発表できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にロールプレイの活動に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意味のまとまりで区切りながら読めるように指導する。 	発表
2	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ原稿をつくり、発表する。 	関心・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・創造性、オリジナルの表現を入れながら、3段落構成で10文程度で表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルを参考にして、3段落構成で、6文以上で表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルの原稿を参考にして、3文以上で書けるように支援する。 	作品・発表
1	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめ 	知識	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞を修飾する様々な表現について理解し、正しく使い分けすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分詞や接触節の形容詞的用法が理解でき、正しく使い分けすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進行形や受け身の文との違いを理解させる。 	T

5. 本時の指導

(1) 本時の目標

- ① 現在分詞の形容詞的用法について理解し、英文を聞いたり読んだりしてその内容を正確に捉えることができる。(理解)
- ② 「～している人は○○です。」という表現も使って、身近な人について紹介できる。(表現)

(2) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点・支援	評価の観点	教材・教具
導入 7分	1. あいさつ 2. Warm-Up Rows and Columns ゲーム形式での英問英答 3. 口頭導入から学習課題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「～をしている人は、○○です。」という文を使って、人を紹介できるようにしよう!</div>	個々に配慮した質問をする。 何を話題にしているのか考えさせる。		写真 WS 1 WS 2
展開 36分	4. 説明を聞いて、現在分詞の形容詞的用法を確認する 5. リスニング練習 英語を聞いて、正しい絵を選ぶ。 6. 口頭練習 ① 一斉練習 ② ペア練習 インフォメーション・ギャップ活動 7. 句や文の意味を確認する。 8. 人を紹介する英文をつくる。	名詞句の例を多く挙げ、意味のまとまりと意味をしっかり捉えさせようとして、文を提示する。 中位レベルの生徒に聞いて、理解度を確かめる。英語とその意味も確認する。 ①名詞句と文のカードを提示する ②絵だけを見せる 対話のモデル・スキットを提示する。 机間巡視で、下位生徒の支援をする。 3～4文でペアの人に紹介するように促す。上位生徒のものを学級全体に紹介する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">現在分詞の形容詞的用法を含んだ英文を聞いてその内容を理解できたか。 ワークシート (理解)</div> A 英文を聞いて、その意味を正しく捉えることができる。 B 現在分詞で説明された英語を聞いて、正しく絵を選ぶことができる。 C 動詞の意味を考えさせようとして、名詞句の意味を考えさせる。	紙板書 絵カード WS 4 紙板書 絵カード 紙板書 WS 5 WS 3 WS 3 写真
終末 7分	9. 確認テスト 本時の学習を振り返る。	A問題を全員で確認してから、B・C問題に取り組ませる。A問題ができなかった生徒には、再度要点を説明してから、補充問題に取り組ませる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「～をしている人は、○○です。」という文を使って、人を紹介することができる。(表現)</div> A 身近な人について、5文程度で紹介できる。 B 「～をしている人は○○です。」という文をつくることができる。 C 絵を見ながら「～している* *」という表現を正しい語順で言えるようにする。	小テスト

英語ワークシート PROGRAM 8-1

1. 英語を聞いて、わかったことを書きなさい。

- ① 佐藤先生の誰のことを話題にしていたか？ ア
 (友達 娘 息子 生徒)
- ② 写真のどの人物のことを指していたか？
 (ア イ ウ エ)
- ③ 佐藤先生が話した内容は次のどれか？
 (人物の比較 人物の紹介・説明 勧誘)



2. 今日の学習課題

3. 現在分詞 (動詞の～ing形) の形容詞的用法

名詞を説明する働きをする～ing形 (～している**)

A) the sleeping baby (あかちゃん)

the dancing girl (少女)

B) the sleeping with a doll (あかちゃん)

the drinking water (少年)

the eating ice cream (少女)

the listening to music under the tree (少年)

- ① 「～している**は、○○さんです。」
- a) The running boy is Ken. He is my friend. He can run the fastest in our school.
- b) The running in the park is Tom. He can play soccer very well. He is liked by his coach.
- ② 「私は、～している**を知っています。」
- a) I know the speaking English on the stage. She has been in New York for 5 years.
- b) I know the talking wih our teacher. He is Ken's father.
- ③ 「～している**を見なさい。」
- a) Look at the swimming in the river. Oh, he is a fan of the Tigers..
- b) Look at the playing the piano. I have wacthed her on TV once.
- ④ 「～している**は誰ですか」
- a) Who is the playing the piano? He is Mike. He has played the piano for 10 years.

4. リスニング練習

英語を聞いて、説明している人物を選びなさい。

①



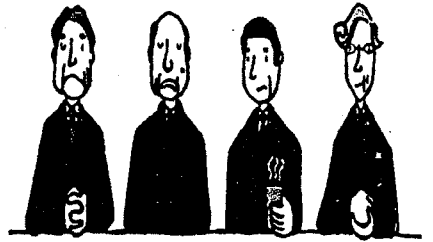
ア イ ウ

②



ア イ ウ

③



ア イ ウ エ

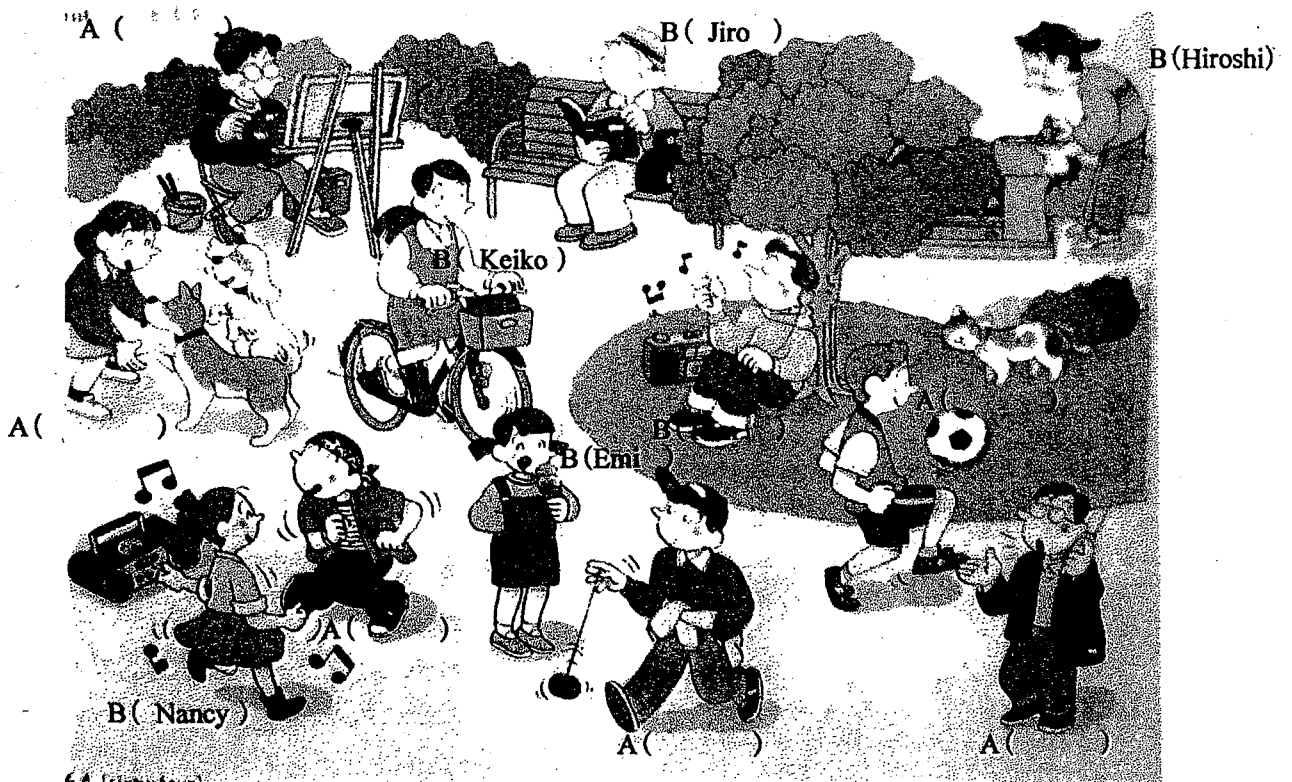
- ① _____ is Ken.
- ② _____ is my friend.
- ③ _____ is my father.

5. ペアの人と英語で問答して、下の絵の人物が誰なのか教え合おう。

あなたは
B さんです

モデル・スキット A : Which person is Mike ?
 B : Mike is the boy playing tennis.
 A : Oh, I see.

A さんの友達 Koji, Bob, Akiko, Taro, Yumi, Ichiro
 B さんの友達 Emi, Tom, Keiko, Hiroshi, Jiro, Nancy



- playing soccer reading a book eating ice cream drinking water riding a bike
 listening to music playing yo-yo painting a picture playing with dogs dancing with a girl
 calling his friend

Script for Oral Introduction WS-1

Sato: Do you know these boys ?

Student: No, I don't.

Sato: One of them is my son. Which boy is my son ?

Student: (I think the taller boy is your son.)

Sato: The boy wearing a yellow hat and a black suit is my son.
His name is Kai. He is 6 years old. He is always smiling like this picture.
He can speak English better than me.

Script for Listening Practice WS-4

No.1 The man walking with a lady

No.2 The dancing girl

No.3 The man having a cup of tea

Script for Oral Practice

No.1 The running girl is Mari.

No.2 The girl reading a book is Akiko.

No.3 The swimming boy is Tom.

No.4 The boys sleeping on the chairs are Ken and Taro.

確認問題 PROGRAM 8-1

3年 組 番

氏名 _____

A. 日本語に合う英文になるように、() 内の語を適切な語順に並べ替えなさい。

- ① 女の人と歩いている男はケンです。
The (walking, with a lady, man) is Ken.

The _____ is Ken.

- ② 踊っている少女は、由美です。
The (girl, dancing) is Yumi.

The _____ is Yumi.



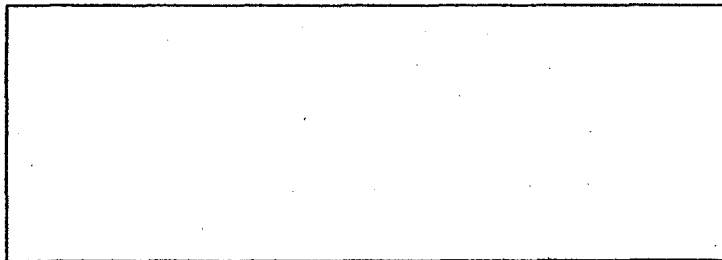
B. 次の日本語を、英語にしなさい。

- ① 野球をしている男の人はイチローです。

- ② 昼食を食べている少年はトムです。

- ③ テレビを見ている人は誰ですか。

C. 写真の人物について5文程度で紹介しなさい。



補充問題

- ① 泣いている赤ちゃん the (baby, crying)
the _____
- ② 着物を着ている少女 the (wearing kimono, girl)
the _____
- ③ テニスをしている少年達 the (boys, playing tennis)
the _____
- ④ 公園で走っている人 the (running in the park, man)
the _____

